

福岡県強度行動障がい従業者養成研修事業実施要綱 新旧対照表

改正後				改正前							
強度行動障がい支援者養成（基礎研修）カリキュラム				強度行動障害支援者養成（基礎研修）カリキュラム							
科目名	時間数	内容		担当講師（例）		科目名	時間数	内容		担当講師（例）	
1 講義	6.5					1 講義	6				
1) 強度行動障がいがある者の基本的理解	1.5	①強度行動障がいの理解	<ul style="list-style-type: none"> ・支援の基本的考え方 ・強度行動障がいの状態 ・行動障がい起きる理由 ・障がい特性の理解 	<ul style="list-style-type: none"> ・強度行動障がい支援者養成研修（基礎及び実践研修修了者） ・医師 ・保健師 ・看護師 ・社会福祉士 ・介護福祉士 ・精神保健福祉士 ・介護・福祉系の学部・学科、介護福祉士養成校等の教員 	<ul style="list-style-type: none"> ・強度行動障害がある者の基本的理解 	2.5	①強度行動障害とは	<ul style="list-style-type: none"> ・本研修の対象となる行動障害 ・強度行動障害の定義 ・強度行動障害支援の歴史的な流れ ・知的障害／自閉症／精神障害とは ・行動障害と家族の生活の理解 ・危機管理・緊急時の対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・強度行動障害と精神科の診断 ・強度行動障害と医療的アプローチ ・福祉と医療の連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・強度行動障害支援者養成研修（基礎及び実践研修修了者） ・医師 ・保健師 ・看護師 ・社会福祉士 ・介護福祉士 ・精神保健福祉士 ・介護・福祉系の学部・学科、介護福祉士養成校等の教員 	
2) 強度行動障がいに関する制度及び	5	②研修の意義	<ul style="list-style-type: none"> ・行動障がいと虐待防止 ・家族の気持ち／実践報 	<ul style="list-style-type: none"> ・強度行動障がい支援者養成研修（基礎及び実践研修修了者） 	2) 強度行動障害に関する	3.5	①強度行動障害と制度	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援給付と行動障害／他 (例) 支援区分と行動関連 	<ul style="list-style-type: none"> ・強度行動障害支援者養成研修（基礎及び実践研修修了者） 		

支援技術 の基礎的 な知識		告	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者行政担当者 ・医師 ・社会福祉士 ・介護福祉士 ・精神保健福祉士 	制度及び 支援技術 の基礎的 な知識		項目・重度訪問介護の対象拡大・発達障害者支援体制整備・強度行動障害支援者養成研修	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者行政担当者 ・医師 ・社会福祉士 ・介護福祉士 ・精神保健福祉士 ・障害者(児)施設長
	③支援のアイデア	・障がい特性に基づいた支援	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者(児)施設長 ・相談支援専門員 ・行動援護従業者 ・介護・福祉系の学部・学科、介護福祉士養成校等の教員 		②構造化	<ul style="list-style-type: none"> ・構造化の考え方 ・構造化の基本と手法 ・構造化に基づく支援のアイデア 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援専門員 ・行動援護従業者 ・介護・福祉系の学部・学科、介護福祉士養成校等の教員
	④チームプレイの基本	・チームプレイの必要性			③支援の基本的な枠組みと記録	<ul style="list-style-type: none"> ・支援の基本的な枠組み ・支援の基本的なプロセス ・アセスメント票と支援の手順書の理解 ・記録方法とチームプレイで仕事をする大切さ 	
	⑤実践報告	・児童期及び成人期における支援の実際			④虐待防止と身体拘束	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止法と身体拘束について ・強度行動障害と虐待 	
					⑤実践報告	<ul style="list-style-type: none"> ・児童期における支援の実際 ・成人期における支援の実態 	

2 演習	5. 5			
1) 基本的な情報収集と記録等の共有	1	① 基本的な情報収集	・行動を見る視点	・強度行動障がい支援者養成研修（基礎及び実践研修修了者） ・保健師
2) 行動障がいがある者の固有のコミュニケーションの理解	3	② チームプレイの基本	・支援手順に基づく支援の体験	・看護師 ・介護福祉士 ・精神保健福祉士 ・行動援護従業者 ・障がい者（児）施設主任級介護職員
		③ 強度行動障がいの理解	・困っていることの体験	・介護・福祉系の学部・学科、介護福祉士養成校等の教員
3) 行動障がいの背景にある特性の理解	1. 5	④ 特性の分析	・特性の把握と適切な対応	
合計	12			

2 演習	6			
1) 基本的な情報収集と記録等の共有	1	① 情報収集とチームプレイの基本	・情報の入手とその方法 ・記録とそのまとめ方と情報共有 ・アセスメントとは	・強度行動障害支援者養成研修（基礎及び実践研修修了者） ・保健師 ・看護師
2) 行動障害がある者の固有のコミュニケーションの理解	2. 5	① 固有のコミュニケーション	・様々なコミュニケーション方法 ・コミュニケーションの理解と表出 ・グループ討議／まとめ	・介護福祉士 ・精神保健福祉士 ・行動援護従業者 ・障害者（児）施設主任級介護職員 ・介護・福祉系の学部・学科、介護福祉士養成校等の教員
3) 行動障害の背景にある特性の理解	2. 5	① 行動障害の背景にあるもの	・感覚・知覚の特異性と障害特性 ・行動障害を理解する氷山モデル ・グループ討議／まとめ	
合計	12			

強度行動障がい支援者養成（実践研修）カリキュラム

科目名	時間数	内容		担当講師（例）
1 講義	3.5			
1) 強度行動障がいがある者へのチーム支援	3	① 支援を組み立てるための基本	・強度行動障がいの支援に必要な知識	<ul style="list-style-type: none"> ・強度行動障がい支援者養成研修（基礎及び実践研修修了者） ・保健師 ・看護師 ・介護福祉士 ・精神保健福祉士 ・行動援護従業者 ・介護・福祉系の学部・学科、介護福祉士養成校等の教員
		② 組織的なアプローチ	・組織的なアプローチの重要性	
2) 強度行動障がいと生活の組立て	0.5	③ 実践報告	・チームによる支援の実際	
2 演習	8.5			
1) 障がいの特性の理解とアセスメント	3	① アセスメントの方法	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的なアセスメントの方法 ・障がい特性に基づくアセスメント 	<ul style="list-style-type: none"> ・強度行動障がい支援者養成研修（基礎及び実践研修修了者） ・保健師 ・看護師

強度行動障害支援者養成（実践研修）カリキュラム

科目名	時間数	内容		担当講師（例）
1 講義	4			
1) 強度行動障害がある者へのチーム支援	2	① 強度行動障害支援の原則	<ul style="list-style-type: none"> ・チームによる支援の重要性 ・支援の6つの原則 ・地域で強度行動障害の人を支える 	<ul style="list-style-type: none"> ・強度行動障害支援者養成研修（基礎及び実践研修修了者） ・保健師 ・看護師
		② 行動障害のある人の生活と支援の実際	<ul style="list-style-type: none"> ・行動障害のある人の家族の想い ・日中活動場面における支援 ・夕方から朝にかけての支援 ・外出場面における支援 	
2) 強度行動障害と生活の組立て	2			<ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉士 ・精神保健福祉士 ・行動援護従業者 ・介護・福祉系の学部・学科、介護福祉士養成校等の教員
2 演習	8			
1) 障害特性の理解とアセスメント	2.5	① 障害特性とアセスメント	<ul style="list-style-type: none"> ・障害特性の理解 ・障害特性に基づくアセスメント ・行動の意味を理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ・強度行動障害支援者養成研修（基礎及び実践研修修了者） ・保健師 ・看護師 ・行動援護従業者

